

令和5年度

学校自己評価表(計画)

学校運営計画		
学校運営方針	進取の精神と豊かな人間性を身につけ、国際・情報社会で活躍できる心身ともに健康な人間を育成する。	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
教育活動の意義や目的について教職員全体で見つめ直し、感染状況を踏まえつつ、従来に近い形態や新たな形態で実施することができた。 一方、業務に偏りがみられるので、分掌内での業務の平準化、各業務での役割の明確化を一層進めることが必要である。	社会関係形成力の育成	柔軟に他者と協働し、自己を表現し、社会と関わっていく力を育成する。
	継続的挑戦力の育成	目標に向かい全てから学び、自らの心身を高め続ける力を育成する。
	分析的思考力の育成	情報や物事を分析活用し多面的に捉え、世界を広げていく力を育成する。
	主体的実行力の育成	主体的に探究し続け、柔軟に実行していく力を育成する。

1 分掌

	重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
教務部	よりよい授業の研究	学力向上とともに魅力ある授業を行うための指導法や教材の研究ができる環境を整える。	授業研究週間を設けるとともに、教科会で指導法についての情報交換を活発に行うことで、授業力向上の一層の推進を図る。	B	B	B
			くくり募集に対応した時間割を編成する。	A		
	生徒募集の強化	中学生やその保護者に対して広報活動を行い、本校の特色の周知を図る。	オープンスクールを2回実施し、多くの方に学校を知ってもらう。	B	B	
			中学校に学校案内を広く配付するとともに、ホームページを活用するなど他の部署とも連携しながら情報発信に努める。	B		
校内運営の見直し	多様化する生徒のニーズを把握し、長期的視点に立った校内運営を効率的に行う。	多様な生徒や新学習指導要領に対応した校務運営を行う。	B	B		
		校務の精選とともに、各部署との連携を密にして効率的な校務運営を行う。	B			
ICT機器の活用	授業および校務の情報化を推進し、ICT機器を円滑に活用できるよう管理する。	生徒の学習用タブレット端末を効果的に活用する。	A	A		
		校務の情報化を推進し、効率化を図る。	A			
渉外広報部	PTA・育成会活動の広報・運営、同窓会との連絡・協力、保護者と協力し生徒募集に力を入れる。	保護者との連携を維持・強化する。	PTA・育成会総会、地区PTA、学年PTAなど4年ぶりに実施となる行事を無事開催し、参加保護者各80%以上を目指す。	A	A	A
			PTA会報「かけはし」を年7回、後援会報を年1回発行し、保護者へ送付する。	A		
			学校行事への参加・協力を呼びかける。	A		
	生徒募集に力を入れる。	学校案内パンフレットの作成、オープンスクール時に保護者と協力して、生徒募集に努める。	A	A		
	ホームページの管理	随時ホームページの更新を行い、情報を発信、生徒募集に努める。	A	A		
卒業生との絆を保つ。	同窓会役員と連絡を取り合い、同窓会報の作成や名簿整理等に協力する。	A	A			
生徒指導部	規範意識の向上と学校生活の充実を図る	教職員間、保護者との共通理解を図り、生徒の健全な育成を目指す。	学年部及び全職員との情報交換を密にし、問題には迅速に対応する。	A	A	A
			生徒指導部便りを適宜発行し、保護者と生徒に情報提供を行う。	A		
			時間厳守・挨拶・制服・頭髪指導、公共交通機関でのマナーを徹底する。	B		
			寮生指導を月1回、登下校指導を年7回程度実施する。	A		
	外部講師による青少年育成講話を年1回実施する。	A				
部活動の活性化	部活動の時間確保と部活動への積極的参加を促す。	B	B			

	重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
保健環境部	心身共に健康な生徒を育てる	健康相談活動を通して適切な支援を行い、心身の健康行動につなげる。	保健室に来室する生徒の様々な悩みや症状に対し、関係する部署・機関と連携し、対応・支援を実施する。	A	A
	明るく清潔な学習環境を整美する	校舎内外の美化意識の向上を図る。 (生徒および職員)	木曜日を除いて6限終了後、すばやく清掃に取りかかり、全員で効率よく校内美化に努める。	A	A
			簡易清掃翌日の整美委員による朝清掃を確実に行わせる。	B	
			大清掃を定期的実施する。また各学年による年1回のワックスがけを実施する。美化週間についてはオープンスクール前に実施する。	A	
寮生が規律正しく、安全に集団生活を送ることができるようにする	寮生が自律的な寮生活を送ることができるようにする。	毎月校内で寮生指導を行う。全体指導だけでなく、寮別や学年別など効果的に実施する。また、必要に応じて臨時寮生指導を適時行い規律意識の向上に努める。	A	B	
		各寮に出向いて、訪問指導を行う。また、4月、9月、1月には、各寮の点呼が確実にしているかどうかの確認するために19:30に寮訪問指導を行う。行事の前など必要に応じて特別寮訪問指導を行う。	A		
		寮生に健康作りにおいて食事の大切さを意識させ、欠食が少なくなるように指導する。	B		
諸検査及び体力テストデータの活用	諸検査及び体力テストの結果を共有し、生徒の心身の状況を把握する。	「年輪」などの冊子を使い、その年の諸検査やスポーツテストの結果を共有した上で適切な対策をとる。	B	B	
進路指導部	キャリア教育の充実・達成率向上	大学進学を中心に生徒の進路希望を達成させ、大学等進学の達成率100%を目指す。	(三者)面談や進学相談を年間計5回以上実施し、適切な進路指導に努める。	A	B
			LHR等において、計画的な進路学習・大学研究を行い、自己の将来を考えられるようにする。	C	
			進路講演会を年間5回程度行い、進路や人生について考えさせる。	A	
			大学入試や大学についての適切な資料提供を行い、学級担任の指導に役立てる。	C	
			学年PTAなどを通して、年3回以上、保護者への情報提供を積極的に行う。	A	
グローバル部 海外大学進学コース課	生徒に応じたコース運営を行う	①コース全体計画を作成する。 ②国際理解に関わる講演会を実施する。	各部署と連携し ①コース全体計画を作成する。 ②生徒向け講演会(専門機関または卒業生による)を実施する。	B	B
	教育課程に係る指導を充実させる	①GS Iの授業案作成 ②GS IIの授業案作成 ③コース生特別講習の内容を作成する。	英語科と連携し、 ①GS Iの授業案を作成し実施する。 ②GS IIの授業案を作成し実施する。 ③コース生特別講習の授業内容を立案して実施する。	A	A
	各分野の学習指導を適切に行う	①英語ディベート指導法の研究をする。 ②論理的思考力、課題発見、解決能力を養う授業を立案する。 ③コース生を対象に講習を実施する。	英語科と連携し、 ①英語ディベート指導法を研究し、指導する。 ②批判的思考力・論理的思考力、課題発見、解決能力を養う授業を立案する。 ③コース生を対象に、英語力強化のための指導を実施する。	B	B
	適切な進学ガイダンスを行う	①コース生向けに。 ②エッセイ指導を含めて、生徒の出願手続きをサポートする。	①海外大学進学の手引きを編集、発行する。 ②エッセイ・出願のサポートをする。	A	A
	蓄積された知見を継承する	海外大学進学に向けた情報を取りまとめる。	①これまで実施した主な授業案を保存・共有する。 ②出願や海外大学からの奨学金に関わる情報を保存する。	A	A

		重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
グローバル部	探究企画課	世界の地域課題に取り組む、国際舞台で活躍できる人材の育成する	グローバルな視点から考察・提案できる人材の育成を図るための教育活動を行う。	年間計画を作成し、連携機関等と協力しながら探究活動を行う。	B	B	B
				アンケート等を通じて活動の評価と分析を行う。	A		
			発表会企画・運営	中間報告会・年次報告会を企画・運営する。	A	A	
			活動内容を県内、県外に広く情報発信する。	適宜外部に情報発信する。	B	B	
				作成した教材を公開する。	C		
				活動の成果集を作成する。			